

Hokkaido University Institute for the Advancement of Higher Education

ニュースレター



北海道大学 高等教育推進機構

Newsletter No. 111

- ラーニングサポート室2017年度活動報告 (3ページ)
- ピアサポート室2017年度活動報告 (5ページ)
- 2017年度学生調査および卒業生調査を実施 (12ページ)
- CoSTEP修了式公開シンポジウム「遠くて近きは～人と動物の“ほどよい”距離感～」を開催 (19ページ)
- (詳しい目次は裏表紙にあります)

巻頭言 FOREWORD

教育改革室の仕事－教育を中心に

教育改革室 総長補佐 高橋 彩

平成29年4月から、教育改革室では入試、学生支援、教育の三つのWGを設置し、改革の具体を検討しています。私は、教育WGの座長を仰せつかり、この一年間、全学的な諸取組を委員の皆様とともに考えてきました。教育で学生の前に立つのが「舞台」での仕事とすると、教育改革室は「舞台裏」の仕事を行っており、各部局の教育の最前線からは見えにくい部分もあると思います。そこで、この場をお借りして、私の担当する「教育」を中心に教育改革室の仕事を紹介しつつ、具体策の検討における課題を述べたいと思います。

教育改革室は、教育担当理事を室長とし、事務局長、副学長、総長補佐を含む13名の室員で構成されています。扱う事項については、内容に応じて前述

の三つのWGで検討され、適宜教育改革室会議で審議されます。教育WGには、部局の状況や意見も十分反映できるよう、文系、理系、医系を代表する形で部局の先生にも参画いただいています。

教育改革室の主要な仕事の一つは、中期目標・中期計画において示された全学的な教育の取組の企画・立案です。各取組の具体策を検討し、適宜、教務委員会など全学的な委員会の審議を経て実行への道筋を作ります。取組により、進捗状況をモニターして、必要に応じて改善策も検討します。

また、スーパーグローバル大学創生支援事業（以下、SGU）で示された全学の教育国際化の推進について、国際連携機構や他の部署と連携・協力しながらその具体策を立案しています。例えば、4学期制の導入や各部局でのカリキュラム・マップ作成による留学しやすい環境づくり、学生の英語力の把握やシラバスの英語化などが、教育改革にかかる取組になります。SGUの目標は、中期目標・計画と重なるものも多く、双方を見ながら具体策を検討することになります。

これらの、すでに「動いている」仕事の他、今後の大きな教育の方向性を議論することも教育改革室の重要な仕事です。名和総長の方針にもとづき、昨年より新しいリベラルアーツ型教育に関する検討が始まりました。急速な科学技術の進展と社会変化の中で、本学が掲げる「世界の課題解決に貢献する」ため、卒業生が持つべき能力も再考する時期にきています。各部局の皆様には、昨夏、全学教育の再定位についてのアンケートにご協力頂きました。教育担当理事のもと、部局からのご意見や他大学の例も参考に、具体的な教育提供・構造の可能性を検討しているところです。その他にも、過去に導入した制度の検証や、その時々で文部科学省等から示される事柄にも対応しています。

以上のように、教育改革室では、北海道大学として、学生の教育にかかる活動全般について、全学的に検討・対応すべき事項を扱っています。

これらの「改革」では、常に二つのことが「好機」や「課題」の顔をして出現するように思います。一つは、本学が研究型の総合大学であること。もう一つは、言うまでもありませんが、現代社会の変化の速さです。

中期目標・中期計画は6年間の目標を立てるものですが、大学変革には最近、より早いスピードが求められているように感じます。現在の第三期中期目標は平成28年度から始まったばかりですが、数年前の目標立案時点とは大学を取り巻く環境は変わってきています。例えば、大学のPDCA（Plan, Do, Check, Action）サイクルへの関心の高まり、高等教育のグローバル化による国境を越える大量の学生移動、eラーニングを含む教育方法の多様化への期待です。状況の変化の中で、目標を達成するための個別の具体策も、刻々と変化する学内外の状況に応

じた立案を求められます。社会の変化に応じて教育の充実を図ることはある意味で「好機」ですが、ある目標の社会的文脈が異なってくるという場面では、「課題」になります。

また、法律、規則等の改正や政府の方針に伴い、大学としての対応を求められることもあります。例えば、先頃文部科学省から全国的に示された教職課程の再課程認定にかかる対応です。単科大学であれば、制度上の対応や学生に対して行うべき事柄は比較的把握しやすいかと想像しますが、分野・部局により事情が異なる総合大学では、全学的な対応のため状況や経緯の把握とともに各部局との密な連携が必要になります。（教育改革室においても、本件に関連した検討事項について、各部局のご理解と迅速なご対応を頂き、有難うございました。）本学が総合大学という「巨人」であることの課題を感じる場面でした。

巨人の動きは時としてゆっくりかもしれませんが、大きなパワーを持っていることも事実です。研究型の総合大学である本学は、幅広く豊かな教育研究資源を有しています。進展する各学部、学院等の教育だけでなく、国際大学院のような先進的な取組、サマーインスティテュート、ラーニングサテライト、新渡戸カレッジ等の全学的な事業を支えているのは、多様なフィールドで、国境や分野を超えて考え、活動する組織と研究者を擁するからです。それが、総体として本学の教育を豊かにしていることは言うまでもありません。

なお、教育改革における目標達成には現実のシステム改革が伴います。この慎重な作業を要する仕事を支えているのが学務部の方々です。文部科学省や各部局との連絡調整や資料準備だけでなく、省庁方針の把握、学内外の状況についての情報収集、各施策のこれまでの経緯の整理等、緻密な作業により巨大な組織の複雑な教育改革が支えられています。総合大学として多様な教職員を擁するからこそ教育の進展が可能になっています。人的資源が本学に「好機」をもたらすと信じています。

本学を様々な学問分野、組織、言語の文化を持つ「多文化社会」と捉えるならば、その社会における構成員間のコミュニケーションには相互理解への姿勢と工夫が必要です。北海道大学の歴史を紡いでいくためには、分野、組織で異なる教育、研究の特徴

を持つ集合体として、北大の良さを活かすことが肝要と考えます。それは容易なことではなく、様々な「課題」への挑戦が求められます。教育改革室の一

員として、この挑戦に微力ながら貢献できればと考えております。今後も引き続き、教育改革にご意見、ご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

高等教育推進機構 Institute for the Advancement of Higher Education

ラーニングサポート室2017年度活動報告

高等教育研修センターラーニングサポート部門（通称ラーニングサポート室、LSO）では、主に初年次学生に対し、進路選択支援・学習支援・データ分析からなる学修支援を行っています。2017年度のそれぞれの支援活動ならびに他組織等から協力を依頼された事業に対する活動について報告します。主な支援事業の利用状況を表1にまとめます。

表1 2017年度LSO利用状況

支援内容	延べ利用者数 (カッコ内は2016年度実績)
進路選択・履修相談	733人*(802人)
進路相談会 (学部時間割ポスター展示)	428人(315人)
学習サポート (個別学習相談)	2489人*(3195人)
スタディ・スキルセミナー	629人(501人)
アカデミックスキルセミナー	48人(143人)
英語コミュニケーション	64人(61人)
物理のコツ(全22回)	累計7394部配布(7394部)
統計学のススメ(全5回)	累計2203部配布(---)
学習スキル資料(全3回)	累計500部配布(---)

※2018年3月12日時点

○進路選択支援

進路選択・履修相談の利用者数は例年並みとなりました。延べ733人のうち、500人弱が4月の履修相談の利用人数です。学部・学科等紹介の日で開催したアカデミック・アドバイザーによる移行先個別相談会(写真1)が盛況で、“癌に関する分野に進みたいが医学科、薬学部以外でどのような選択肢があるか”“現在、工学部だが、英語・地理・歴史に興味があって文学部や教育学部へ転学部したい”など

多数の相談が寄せられました。アカデミック・マップは2017年度から冊子版のデザインを一新すると共に、研究キーワードの改善が進みました。

○学習支援

学習サポート(個別学習相談)の利用者はこれまでゆるやかな増加にありましたが、2017年度は延べ利用者数が2489人となり、2016年度の3195人に比べ大幅な減少となってしまいました。月別の利用状況を見てみると、期末試験前で利用が多いはずの7月の利用が例年に比べ少なかったことが分かります。

一方で、各学期の始めに開催するスタディ・スキルセミナー(附属図書館との共同開催、写真2)の利用が伸びています。5つのテーマ(講義の受け方、論説型レポートの書き方、実験レポートの書き方、プレゼンの方法、文献の探し方)それぞれについて内容改善に注力した結果と言えます。

学部生・大学院生を対象としたアカデミックスキルセミナー(附属図書館との共同開催)ではテーマをプレゼンの方法のみに絞って全2回の開催とし、48名の参加がありました。11テーマ全22回の開催で延べ143人の参加があった前年度よりも内容が改善されたと考えています。

2017年10月より英語コミュニケーション(留学生TAによる英会話教室、写真3)の実施が再開し、全9回の実施で延べ64人の参加者が集まりました。英語担当チューター(TA)の尽力により、以前よりも内容のよく練られたものとなり、“どうすれば平和裏に国家間の対立を解決できるか”などの比較的難易度の高いテーマを各回に設定することで、高度な英語活用能力を磨く場となりました。

資料配布型支援の充実も進みました。以前より配

布している物理のコツシリーズ（全22回）に加え、2017年度より統計学のススメシリーズ（全5回）の配布を始めました。また、2018年度の配布に向けて化学の教材作成を行いました。



写真1 移行先個別相談会の様子（2018年2月）



写真2 スタディ・スキルセミナーの様子（2017年4月）



写真3 英語コミュニケーションの様子（2017年11月）

○データ分析

データ分析では、例年通り学生アンケート等の調査分析を行いました。特に、8項目の充実度（専門的な知識や技能の修得、幅広い教養を身につけること、興味ある学問を見つける（再認識する）こと、部活動・サークル活動、ボランティア活動、アルバイト、人間関係（友人・恋愛など）、国際交流（留学・語学習得など）と「大学生生活の総合的な充実度」との間の相関関係を調べたところ、2年次・3年次および卒業年次で、「人間関係（友人・恋愛など）」の充実度と「大学生生活の総合的な充実度」との間の相関が最も高いという結果を得ました（いずれもやや強い正の相関）。4年次・5年次生についても、一部例外を除き、同様の相関が見られました。

○他組織等への協力

- ・国際連携機構が推進する、本学および北海道内の連携大学／大学院への進学を希望する留学生のための支援プログラムに協力し、学部プログラム「大学1年生のためのスタディ・スキル」および大学院プログラム「大学院生のためのアカデミックスキル」（eラーニング教材）を提供しました。
- ・北海道大学 Super Scientist Program の夏のスクーリング（2017年8月7日～9日）において、「研究に繋がる学び方／学術的文章の書き方」というタイトルで講義を行いました。
- ・全学教育科目主題別科目社会の認識「大学生生活の心理学」（担当教員：松田康子教授、齋藤暢一郎講師）において1回分の授業を担当し、「より良い学びのための認知心理学」というタイトルで講義を行いました。
- ・教育改革室から依頼を受け、教材「引用の仕方—不正と言われないために」「引用元を明示しないコピーは不正行為」を作成しました。これらは2018年度よりLSOウェブサイトに掲載しています。

LSOでは今後も各支援・事業の充実に向けて参ります。

（浅賀 圭祐）

ピアサポート室2017年度活動報告

—仲間同士の支え合いと居場所の空間—

ピアサポート室では、「仲間同士 (peer) の支え合い (support)」の理念の下、学生による学生のための支援を行っています。場所は高等教育推進機構と北図書館の中間にあたる、情報教育館2階に位置しており、平日12:00~16:30 (祝休日・長期休業を除く) の時間帯に開室しています。室内には学部2年生以上の学生2名が「ピアサポーター」として常駐しており、主に1年生を中心とした利用者から学生生活全般の相談を受け付けています。また、別に相談事がなくても部屋を利用することが可能です。食事や読書をしたり、備え付けの炬燵で軽く昼寝したりしている学生を見かけます (写真1)。利用者の中にはほぼ毎日のように来室する常連も存在します。



写真1 ピアサポート室内にある炬燵

2017年度の利用者数は6692人で例年並みでしたが、相談件数は395件で過去4年間連続の増加傾向にあります。相談内容の内訳ですが、「時間割の作成を手伝って欲しい」、「レポートの書き方が分からない」といった学業に関する相談が191件で最多でした。他にも道案内、アルバイトの悩み、サークルの人間関係についての相談、と多岐にわたります。相談についてはサポーターが経験を活かして対応しています。例えば、「どの授業を取れば良いか」という相談に対しては、サポーターが実際に受講した

ことのある授業の様子・印象を伝えるなど、シラバスからは知りえない情報を提供しています。

ピアサポート室では他にもイベントの企画や大学生活におけるお役立ち情報の収集・発信をしています。具体的には、新規利用者の獲得・利用者とのつながり促進のため、期間限定で飲み物を提供する「ピアカフェ」、サポーターの人脈を生かして学部情報 (時間割・おすすめ授業など) をまとめた「とらのまき」、アルバイトに不安を持つ学生のために「アルバイト体験談」などが挙げられます。

今後の課題としては、発達障害の疑いがあると思われる学生への対応をどうすべきかです。ピアサポート室には学生相談室や特別修学支援室から紹介されて来室する学生がいます。その際にサポーターが対応に困る場面があります。例えば、他の利用者があるにも関わらず、該当学生がピアサポーターにずっと話しかけ続けて、他の利用者が相談できなくなってしまうことがありました。また、話の内容についても一貫性がないことも多く、サポーターが返答に窮することもありました。ピアサポート室ではうつ病やコミュニケーション技術に関して研修会を実施していますが、障害のある学生についての学習の場を設ける機会はありませんでした。他の学生支援機関からピアサポート室が障害のある学生にとって、対人関係能力を磨く場、あるいは大学構内における「居場所」となることが求められていることから、研修会の実施も含めて創意工夫をしていきたいと思っております。

ピアサポート室は皆さまのご理解、ご協力いただき、設立して10年目を迎えることができました。学生主体の学生支援機関である強みを発揮し、精一杯努力をしてみたいと思いますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

(満保 裕太 平成29年度北海道大学ピアサポート室学生代表/教育学部卒)

全学教育 GENERAL EDUCATION & 総合教育 FIRST YEAR EDUCATION

学務委員会報告

平成29年11月30日（木），平成30年2月28日（水）にそれぞれ平成29年度第3回，第4回の学務委員会が開催され，以下の議題が審議されました。

平成29年度第3回学務委員会

議題1 平成30年度全学教育科目の開講計画について

各部局から提出された全学教育科目について，取りまとめたものを報告し，了承されました。平成30年度の開講数は，ほぼ例年通りとなっております。

議題2 平成30年度全学教育科目に係るTF及びTAについて

各部局から提出されたTF（ティーチング・フェロー）及びTA（ティーチング・アシスタント）について取りまとめたものを報告し，了承されました。

議題3 平成30年度全学教育部・総合教育部行事予定表等について

ほぼ例年通りの内容で了承されました。

議題4 北海道大学入学式（学士課程）の実施日について

従来，4月8日に定められていた入学式を，4月1日から数えて土曜日，日曜日を除く4日目と決めました。これにより1学期の開始を早めることができます。なお，実施は平成31年度からとなっております。

平成29年度第4回学務委員会

議題1 全学教育科目実行教育課程表の一部改正について

医学部医学科の実行教育課程表の変更について審議し，了承されました。卒業要件単位数は現行の53単位から46単位となり，各科目の必要単位数も減らしています。結果として，歯学部と同じ内容となったため，全学教育科目実行教育課程表では医学部医学科・歯学部を同じ枠に表示することとしました。

議題2 平成30年度全学教育科目に係るTF，TAの採用について

TFの予算が決まったことを受けて，各部局から申請されたTFについて人数と時間数及び採用予定者を決定しました。また，これを受けてTAについてもTF採用者を削除する形で，人数と時間数及び採用予定者を決定しました。

議題3 進級判定，進級要件単位充足判定について

1年次学生の成績が確定したことを受けて，2年次への進級要件単位充足者2547人について学部移行の手続きに入ることを認めました。また現代日本学プログラム課程の16人について進級を認めました。在籍者に対する単位充足者の比率は96.0%となり，ほぼ例年並みでした。

議題4 第0次振り分け定員・第1次振り分け定員の決定について

総合入試入学者について，第0次振り分け定員及び第1次振り分け定員を，内規にもとづいて算出のうえ，決定しました。

議題5 平成31年度全学教育科目の開講計画策定に向けて

教員ポイント7.5%削減に対応した全学教育科目の開講数削減案を審議し，了承されました。平成31年度から，新しい開講数で各部局に開講を依頼することになります。

議題6 北海道大学大学院共通授業科目規程の一部改正について

大学院共通授業科目では一般科目のほかに，教育プログラムの名称を冠した科目名称を設定することを可能としています。このたび工学院から新たな教育プログラムであるSTSI（持続可能な輸送システムと社会インフラ構築のための国際共同研究力育成プログラム），JICA開発大学院連繫プログラムについて，プログラム名を冠した科目名の設定依頼があり，了承されました。

（白木沢 旭児 全学教育部長・総合教育部長）

平成30年度 全学教育部・総合教育部行事予定表

第1学期

月日(曜日)	行 事
4 2(月)～ 4(水)	新入生定期健康診断
5(木)	新入生オリエンテーション及び総合教育部ガイダンス(学部・学科等移行ガイダンス、学部ガイダンス)
6(金)	入学式
9(月)	履修調整・登録に関するガイダンス及び教育情報システム(ELMS)利用に関するガイダンス
10(火)	第1学期授業開始日
10(火)～16(月)	抽選科目の申込期間(Web入力)
18(水)	抽選科目の結果発表日及び追加申込日
19(木)～25(水)	履修登録(Web入力)
5 8(火)～ 9(水)	履修時間割確認期間
16(水)	6講時授業実施開始※下記参照
29(火)	金曜の授業を行う日(火曜の授業は行わない)
6 1(金)～ 3(日)	大学祭[期間中休講]
11(月)～13(水)	履修登録科目の取消期間(Web)
13(水)	6講時授業実施終了※下記参照
16(土)	TOEFL-ITP試験(英語Ⅱ)
18(月)～20(水)	自由設計科目登録変更期間
7 25(水)	水曜日の授業終了日
31(火)	火曜日の授業終了日
8 1(水)	初習外国語統一試験日(通常授業は休講)
2(木)	木曜日の授業終了日
3(金)	金曜日の授業終了日
5(日)～ 6(月)	オープンキャンパス
6(月)	月曜日の授業終了日(第1学期授業終了日)
7(火)～ 9/26(水)	夏季休業日
13(月)	成績報告締切(非常勤[帳票])
16(木)正午	成績報告締切(常勤[Web入力])
23(木)	全学教育科目成績Web上公開
23(木)～24(金)	全学教育科目成績確認及び成績評価に関する申立て期間
9 上旬～中旬	学科等分属手続:当該学部(2年次以上)

第2学期

月日(曜日)	行 事
9 25(火)(予定)	ISP入学式
25(火)午後	学部・学科等移行ガイダンス
26(水)	学部・学科等紹介
27(木)	第2学期授業開始日
27(木)～10/3(水)	学部・学科等移行手続き(予備志望調査)
27(木)～10/3(水)	抽選科目の申込期間(Web入力)
10 4(木)	予備志望調査結果発表
5(金)	抽選科目の結果発表日及び追加申込日
9(火)～15(月)	履修登録(Web入力)
22(月)～23(火)	履修時間割確認期間
11 25(日)	AO入試・帰国子女入試・国際総合入試
26(月)～28(水)	履修登録科目の取消期間(Web)
12 3(月)～ 5(水)	自由設計科目登録変更期間
25(火)	月曜の授業を行う日(火曜の授業は行わない)
26(水)	金曜の授業を行う日(水曜の授業は行わない)
27(木)～ 1/4(金)	冬季休業日
1 7(月)	授業再開
18(金)	センター試験準備(休講)
19(土)～20(日)	大学入試センター試験
24(木)	木曜日の授業終了日
29(火)	火曜日の授業終了日
30(水)	水曜日の授業終了日
31(木)	初習外国語統一試験日(通常授業は休講)
2 1(金)	金曜日の授業終了日
4(月)	月曜日の授業終了日(第2学期授業終了日)
5(火)午後	学部・学科等移行ガイダンス
6(水)	学部・学科等紹介
12(火)正午	成績報告締切(常勤[Web入力])
12(火)	成績報告締切(非常勤[帳票])
18(月)	全学教育科目成績Web上公開
18(月)～19(火)	全学教育科目成績確認及び成績評価に関する申立て期間
25(月)～26(火)	一般入試個別学力検査等(前期日程)
27(水)正午	全学教育科目成績確定
27(水)午後～	第1年次進級判定
27(水)午後	学部・学科等移行手続き
～ 3/20(水)	(第1回志望調査～各学部振り分け)
3 12(火)	一般入試個別学力検査等(後期日程)

第1回クラスアワー	4月5日(木)新入生オリエンテーション時
第2回クラスアワー	4月下旬～6月上旬

第3回クラスアワー	9月下旬～11月上旬(基本的に9月25日(火)午前を利用)
第4回クラスアワー	2月初旬(基本的に2月5日(火)午前を利用)

※6講時(18:15～19:45)授業実施スケジュール

月曜日1講時の授業	5/23(水)実施
月曜日2講時の授業	5/30(水)実施
月曜日3講時の授業	6/6(水)実施
月曜日4講時の授業	6/13(水)実施
月曜日5講時の授業	5/16(水)実施

※4学期制実施スケジュール

	授業実施期間	履修取消期間	自由設計科目登録変更期間
春ターム	4/10(火)～6/8(金)	5/14(月)～16(水)	5/21(月)～23(水)
夏ターム	6/6(水)～8/6(月)	7/9(月)～11(水)	7/17(火)～19(木)
秋ターム	9/27(木)～11/26(月)	11/5(月)～7(水)	11/12(月)～14(水)
冬ターム	11/22(木)～2/4(月)	1/7(月)～9(水)	1/15(火)～17(木)

平成29/28年度（第1学期）全学教育科目履修者数対比表

区分	授 業 科 目	29年度1学期（履修取消後）			28年度1学期（履修取消後）			29/28年度比較	
		クラス数	履修者数	1クラスの履修者数	クラス数	履修者数	1クラスの履修者数	履修者の増減	前年比%
	一般教育演習（フレッシュマンセミナー）	101	1,795	17.77	110	2,210	20.09	▲ 415	81.2%
	（集中・論文指導除く）小計	45	715	15.89	43	824	19.16	▲ 109	86.8%
	（集中〈通年集中除く〉）小計	13	318	24.46	17	341	20.06	▲ 23	93.3%
	（論文指導）小計	43	762	17.72	50	1,045	20.90	▲ 283	72.9%
総合科目	環境と人間	16	847	52.94	15	961	64.07	▲ 114	88.1%
	環境と人間（1単位・春ターム）	2	72	36.00	-	-	-	-	-
	環境と人間（1単位・夏ターム）	2	38	19.00	-	-	-	-	-
	健康と社会	6	1,058	176.33	8	1,106	138.25	▲ 48	95.7%
	人間と文化	6	213	35.50	8	438	54.75	▲ 225	48.6%
	人間と文化（1単位・春ターム）	1	24	24.00	-	-	-	-	-
	人間と文化（1単位・夏ターム）	1	7	7.00	-	-	-	-	-
	特別講義	2	77	38.50	1	40	40.00	37	192.5%
	特別講義（1単位・春ターム）	2	214	107.00	-	-	-	-	-
	特別講義（1単位・夏ターム）	2	184	92.00	-	-	-	-	-
	総合科目 小計	40	2,734	68.35	32	2,545	79.53	189	107.4%
主題別科目	思索と言語	9	861	95.67	11	1,211	110.09	▲ 350	71.1%
	思索と言語（論文指導）	5	56	11.20	4	41	10.25	15	136.6%
	歴史の視座	3	270	90.00	8	499	62.38	▲ 229	54.1%
	歴史の視座（論文指導）	7	95	13.57	4	95	23.75	0	100.0%
	芸術と文学	7	1,007	143.86	7	827	118.14	180	121.8%
	芸術と文学（集中）	3	210	70.00	3	210	70.00	0	100.0%
	芸術と文学（論文指導）	3	46	15.33	4	62	15.50	▲ 16	74.2%
	社会の認識	25	1,236	49.44	22	1,341	60.95	▲ 105	92.2%
	社会の認識（論文指導）	8	115	14.38	9	146	16.22	▲ 31	78.8%
	社会の認識（1単位・春ターム）	2	79	39.50	-	-	-	-	-
	社会の認識（1単位・夏ターム）	2	33	16.50	-	-	-	-	-
	科学・技術の世界	18	1,439	79.94	16	1,277	79.81	162	112.7%
	科学・技術の世界（論文指導）	1	29	29.00	2	60	30.00	▲ 31	48.3%
	科学・技術の世界（1単位・春ターム）	4	204	51.00	4	158	39.50	46	129.1%
科学・技術の世界（1単位・夏ターム）	4	146	36.50	4	133	33.25	13	109.8%	
主題別科目 小計	101	5,826	57.68	98	6,060	61.84	▲ 234	96.1%	
	（集中・論文指導除く）小計	74	5,275	71.28	72	5,446	75.64	▲ 171	96.9%
	（集中）小計	3	210	70.00	3	210	70.00	0	100.0%
	（論文指導）小計	24	341	14.21	23	404	17.57	▲ 63	84.4%
共通科目	体育学A（実技・1単位）	55	1,524	27.71	66	1,653	25.05	▲ 129	92.2%
	体育学B（講義・2単位）	1	119	119.00	1	130	130.00	▲ 11	91.5%
	情報学	19	2,716	142.95	19	2,707	142.47	9	100.3%
	統計学	11	782	71.09	11	808	73.45	▲ 26	96.8%
	インターンシップ	(2)	-	-	(2)	164	82.00	-	-
共通科目 小計	86	5,141	59.78	97	5,462	56.31	▲ 321	94.1%	
	外国語を除く教養科目 合計	328	15,496	47.24	337	16,277	48.30	▲ 781	95.2%
	うち論文指導（主題別・一般教育演習）小計	67	1,103	16.46	73	1,449	19.85	▲ 346	76.1%
外国語科目	英語	137	5,325	38.87	137	5,358	39.11	▲ 33	99.4%
	ドイツ語	26	999	38.42	26	1,002	38.54	▲ 3	99.7%
	フランス語	12	430	35.83	13	474	36.46	▲ 44	90.7%
	ロシア語	5	173	34.60	5	172	34.40	1	100.6%
	スペイン語	7	278	39.71	5	190	38.00	88	146.3%
	中国語	21	768	36.57	22	794	36.09	▲ 26	96.7%
	韓国語	5	128	25.60	5	102	20.40	26	125.5%
外国語科目 小計	213	8,101	38.03	213	8,092	37.99	9	100.1%	
外国語演習	英語演習	96	1,283	13.36	101	1,522	15.07	▲ 239	84.3%
	英語演習（集中）	6	121	20.17	5	82	16.40	39	147.6%
	ドイツ語演習	15	297	19.80	13	294	22.62	3	101.0%
	フランス語演習	13	195	15.00	11	222	20.18	▲ 27	87.8%
	ロシア語演習	6	97	16.17	7	117	16.71	▲ 20	82.9%
	スペイン語演習	9	176	19.56	7	139	19.86	37	126.6%
	中国語演習	16	338	21.13	17	267	15.71	71	126.6%
	韓国語演習	4	46	11.50	7	46	6.57	0	100.0%
	外国語特別演習	12	223	18.58	10	170	17.00	53	131.2%
外国語演習 小計	177	2,776	15.68	178	2,859	16.06	▲ 83	97.1%	
	外国語 合計	390	10,877	27.89	391	10,951	28.01	▲ 74	99.3%

基礎科目	人文・社会科学の基礎	11	1,328	120.73	9	1,189	132.11	139	111.7%
	文系基礎科目 小計	11	1,328	120.73	9	1,189	132.11	139	111.7%
	線形代数学	34	1,937	56.97	34	1,904	56.00	33	101.7%
	微分積分学	34	1,940	57.06	34	1,976	58.12	▲ 36	98.2%
	数学概論	2	16	8.00	2	13	6.50	3	123.1%
	数学 小計	70	3,893	55.61	70	3,893	55.61	0	100.0%
	物理学	24	1,838	76.58	24	1,858	77.42	▲ 20	98.9%
	化学	29	1,866	64.34	29	1,886	65.03	▲ 20	98.9%
	生物学	21	1,806	86.00	21	1,809	86.14	▲ 3	99.8%
	地球惑星科学	6	651	108.50	6	698	116.33	▲ 47	93.3%
	理科 小計	80	6,161	77.01	80	6,251	78.14	▲ 90	98.6%
	基礎自然科学実験	1	16	16.00	1	13	13.00	3	123.1%
	自然科学実験	17	979	57.59	17	992	58.35	▲ 13	98.7%
	実験 小計	18	995	55.28	18	1,005	55.83	▲ 10	99.0%
	基礎科目 合計	179	12,377	69.15	177	12,338	69.71	39	100.3%
日本語・日本事情	4	21	5.25	3	27	9.00	▲ 6	77.8%	
全学教育科目 1学期合計	901	38,771	43.03	908	39,593	43.60	▲ 822	97.9%	

※ 一般教育演習 集中講義「グローバルキャリアデザイン」及び「インターンシップ」の履修者数は、未定のため、「29/28年度比較」欄は、これらを除いて算出している。
 ※ 教養教育連携事業（受信科目）については除外

外国語科目の詳細

区分	授業科目	29年度1学期（履修取消後）			28年度1学期（履修取消後）			29/28年度比較	
		クラス数	履修者数	1クラスの履修者数	クラス数	履修者数	1クラスの履修者数	履修者の増減	前年比%
外国語科目	英語 I	78	2,593	33.24	78	2,581	33.09	12	100.5%
	英語 II（1年次・CALL）	51	2,585	50.69	51	2,584	50.67	1	100.0%
	英語（再履修）	8	147	18.38	8	193	24.13	▲ 46	76.2%
	英語 小計	137	5,325	38.87	137	5,358	39.11	▲ 33	99.4%
	ドイツ語	25	949	37.96	25	958	38.32	▲ 9	99.1%
	ドイツ語（再履修）	1	50	50.00	1	44	44.00	6	113.6%
	ドイツ語 小計	26	999	38.42	26	1,002	38.54	▲ 3	99.7%
	フランス語	11	395	35.91	12	447	37.25	▲ 52	88.4%
	フランス語（再履修）	1	35	35.00	1	27	27.00	8	129.6%
	フランス語 小計	12	430	35.83	13	474	36.46	▲ 44	90.7%
	ロシア語	4	154	38.50	4	160	40.00	▲ 6	96.3%
	ロシア語（再履修）	1	19	19.00	1	12	12.00	7	158.3%
	ロシア語 小計	5	173	34.60	5	172	34.40	1	100.6%
	スペイン語	6	263	43.83	4	176	44.00	87	149.4%
	スペイン語（再履修）	1	15	15.00	1	14	14.00	1	107.1%
	スペイン語 小計	7	278	39.71	5	190	38.00	88	146.3%
	中国語	19	722	38.00	20	762	38.10	▲ 40	94.8%
	中国語（再履修）	2	46	23.00	2	32	16.00	14	143.8%
	中国語 小計	21	768	36.57	22	794	36.09	▲ 26	96.7%
	韓国語	4	113	28.25	4	100	25.00	13	113.0%
韓国語（再履修）	1	15	15.00	1	2	2.00	13	750.0%	
韓国語 小計	5	128	25.60	5	102	20.40	26	125.5%	
外国語科目 合計	213	8,101	38.03	213	8,092	37.99	9	100.1%	
(1年次・CALL除く) 小計	147	5,189	35.30	147	5,184	35.27	5	100.1%	
(1年次・CALL) 小計	51	2,585	50.69	51	2,584	50.67	1	100.0%	
(再履修) 小計	15	327	21.80	15	324	21.60	3	100.9%	

理科基礎科目の詳細

理科基礎科目	物理学	23	1,812	78.78	23	1,835	79.78	▲ 23	98.7%
	物理学（再履修）	1	26	26.00	1	23	23.00	3	113.0%
	物理学 小計	24	1,838	76.58	24	1,858	77.42	▲ 20	98.9%
	化学	28	1,832	65.43	28	1,864	66.57	▲ 32	98.3%
	化学（再履修）	1	34	34.00	1	22	22.00	12	154.5%
	化学 小計	29	1,866	64.34	29	1,886	65.03	▲ 20	98.9%
	生物学	20	1,780	89.00	20	1,791	89.55	▲ 11	99.4%
	生物学（再履修）	1	26	26.00	1	18	18.00	8	144.4%
	生物学 小計	21	1,806	86.00	21	1,809	86.14	▲ 3	99.8%
	地球惑星科学	6	651	108.50	6	698	116.33	▲ 47	93.3%
	地球 小計	6	651	108.50	6	698	116.33	▲ 47	93.3%
	理科（実験除く）合計	80	6,161	77.01	80	6,251	78.14	▲ 90	98.6%
物理学・物理学（上級）・化学・生物学・地球惑星科学 小計	77	6,075	78.90	77	6,188	80.36	▲ 113	98.2%	
(再履修) 小計	3	86	28.67	3	63	21.00	23	136.5%	

平成29/28年度(第2学期)全学教育科目履修者数対比表(履修取消後)

区分	授 業 科 目	29年度2学期			28年度2学期			29/28年度比較	
		クラス数	履修者数	1クラスの履修者数	クラス数	履修者数	1クラスの履修者数	履修者の増減	前年比%
	一般教育演習 (フレッシュマンセミナー)	60	849	14.15	57	1,175	20.61	▲ 326	72.3%
	(集中・論文指導除く) 小計	32	400	12.50	29	544	18.76	▲ 144	73.5%
	(集中) 小計	9	246	27.33	7	219	31.29	27	112.3%
	(論文指導) 小計	19	203	10.68	21	412	19.62	▲ 209	49.3%
総合科目	環境と人間	14	1,671	119.36	13	1,604	123.38	67	104.2%
	環境と人間 (1単位・秋ターム)	1	30	30.00	-	-	-	-	-
	環境と人間 (1単位・冬ターム)	1	20	20.00	-	-	-	-	-
	健康と社会	6	960	160.00	5	1,098	219.60	▲ 138	87.4%
	人間と文化	5	246	49.20	5	282	56.40	▲ 36	87.2%
	人間と文化 (1単位・秋ターム)	1	109	109.00	-	-	-	-	-
	人間と文化 (1単位・冬ターム)	1	78	78.00	-	-	-	-	-
	特別講義	1	3	3.00	1	44	44.00	▲ 41	6.8%
	特別講義 (1単位・秋ターム)	1	55	55.00	-	-	-	-	-
	特別講義 (1単位・冬ターム)	1	33	33.00	-	-	-	-	-
総合科目 小計	32	3,205	100.16	24	3,028	126.17	177	105.8%	
主題別科目	思索と言語	6	794	132.33	5	533	106.60	261	149.0%
	思索と言語 (論文指導)	4	83	20.75	2	52	26.00	31	159.6%
	歴史の視座	12	944	78.67	6	991	165.17	▲ 47	95.3%
	歴史の視座 (1単位・秋ターム)	1	209	209.00	1	59	59.00	-	-
	歴史の視座 (1単位・冬ターム)	1	172	172.00	1	51	51.00	-	-
	歴史の視座 (論文指導)	1	19	19.00	2	52	26.00	▲ 33	36.5%
	芸術と文学	10	1,193	119.30	8	1,132	141.50	61	105.4%
	芸術と文学 (論文指導)	1	14	14.00	2	56	28.00	▲ 42	25.0%
	社会の認識	10	1,263	126.30	15	1,396	93.07	▲ 133	90.5%
	社会の認識 (集中)	1	21	21.00	-	-	-	-	-
	社会の認識 (1単位・秋ターム)	1	17	17.00	-	-	-	-	-
	社会の認識 (1単位・冬ターム)	1	13	13.00	-	-	-	-	-
	社会の認識 (論文指導)	7	134	19.14	7	113	16.14	21	118.6%
	科学・技術の世界	17	1,037	61.00	19	1,523	80.16	▲ 486	68.1%
	科学・技術の世界 (1単位・秋ターム)	3	201	67.00	4	125	31.25	-	-
科学・技術の世界 (1単位・冬ターム)	3	156	52.00	4	126	31.50	-	-	
科学・技術の世界 (論文指導)	1	4	0.00	1	24	0.00	▲ 20	0.0%	
主題別科目 小計	80	6,274	78.43	77	6,233	80.95	41	100.7%	
(集中・論文指導除く) 小計	47	5,969	127.00	63	5,936	94.22	33	100.6%	
(集中) 小計	1	21	21.00	-	-	-	-	-	
(論文指導) 小計	14	254	18.14	14	297	21.21	▲ 43	85.5%	
共通科目	体育学A (実技・1単位) ※集中含	39	902	23.13	27	895	33.15	7	100.8%
	体育学B (講義・2単位)	3	526	175.33	3	782	260.67	▲ 256	67.3%
	情報学	11	677	61.55	11	437	39.73	240	154.9%
	統計学	9	626	69.56	9	707	78.56	▲ 81	88.5%
	共通科目 小計	62	2,731	44.05	50	2,821	56.42	▲ 90	96.8%
外国語を除く教養科目 合計		234	13,059	55.81	208	13,257	63.74	▲ 198	98.5%
うち論文指導 (主題別・一般教育演習) 小計		33	457	13.85	35	709	20.26	▲ 252	64.5%
外国語科目	英語	153	4,497	29.39	154	4,491	29.16	6	100.1%
	ドイツ語	33	977	29.61	26	983	37.81	▲ 6	99.4%
	フランス語	12	433	36.08	13	464	35.69	▲ 31	93.3%
	ロシア語	5	160	32.00	5	168	33.60	▲ 8	95.2%
	スペイン語	7	272	38.86	5	187	37.40	85	145.5%
	中国語	20	759	37.95	21	812	38.67	▲ 53	93.5%
	韓国語	5	113	22.60	5	106	21.20	7	106.6%
外国語科目 小計	235	7,211	30.69	229	7,211	31.49	0	100.0%	
外国語演習	英語演習※集中含	76	1,032	13.58	73	1,037	14.21	▲ 5	99.5%
	ドイツ語演習	17	339	19.94	13	315	24.23	24	107.6%
	フランス語演習	11	232	21.09	13	261	20.08	▲ 29	88.9%
	ロシア語演習	6	103	17.17	8	103	12.88	0	100.0%
	スペイン語演習	8	132	16.50	7	89	12.71	43	148.3%
	中国語演習	17	349	20.53	18	370	20.56	▲ 21	94.3%
	韓国語演習	5	67	13.40	5	78	15.60	▲ 11	85.9%
	外国語特別演習	12	212	17.67	13	244	18.77	▲ 32	86.9%
外国語演習 小計	152	2,466	16.22	150	2,497	16.65	▲ 31	98.8%	
外国語 合計		387	9,677	25.01	379	9,708	25.61	▲ 31	99.7%

基礎科目	人文・社会科学の基礎	4	709	177.25	6	913	152.17	▲ 204	77.7%
	文系基礎科目 小計	4	709	177.25	6	913	152.17	▲ 204	77.7%
	線形代数学※再履修クラス含	28	1,078	38.50	28	1,096	39.14	▲ 18	98.4%
	微分積分学※再履修クラス含	28	1,347	48.11	28	1,424	50.86	▲ 77	94.6%
	数学概論	1	14	14.00	1	16	16.00	▲ 2	87.5%
	数学 小計	57	2,439	42.79	57	2,536	44.49	▲ 97	96.2%
	物理学	23	1,802	78.35	23	1,835	79.78	▲ 33	98.2%
	化学	27	1,835	67.96	27	1,855	68.70	▲ 20	98.9%
	生物学	21	1,440	68.57	21	1,473	70.14	▲ 33	97.8%
	地球惑星科学	6	959	159.83	6	955	159.17	4	100.4%
	理科 小計	77	6,036	78.39	77	6,118	79.45	▲ 82	98.7%
	心理学実験	4	113	28.25	4	54	13.50	59	209.3%
	自然科学実験 (2単位)	17	1,001	58.88	18	998	55.44	3	100.3%
	実験 小計	21	1,114	53.05	22	1,052	47.82	62	105.9%
	基礎科目 合計	159	10,298	64.77	162	10,619	65.55	▲ 321	97.0%
日本語・日本事情	1	12	12.00	1	16	16.00	▲ 4	75.0%	

全学教育科目 2学期合計	781	33,046	42.31	750	33,600	44.80	▲ 554	98.4%
全学教育科目 1学期合計	905	38,978	43.07	908	39,429	43.42	▲ 451	98.9%
全学教育科目 1・2学期合計	1,686	72,024	42.72	1,658	73,029	44.05	▲ 1,005	98.6%

※一般教育演習 集中講義「グローバルキャリアデザイン3・4」の履修者数は未定のため、除外
 ※教養教育連携事業(受信科目)については除外
 ※現代日本学プログラム課程, ISPのみを対象とした科目は除外

外国語科目の詳細

区分	授業科目	29年度2学期(履修取消後)			28年度2学期(履修取消後)			29/28年度比較	
		クラス数	履修者数	1クラスの履修者数	クラス数	履修者数	1クラスの履修者数	履修者の増減	前年比%
外国語科目	英語Ⅲ	78	2,196	28.15	79	2,183	27.63	13	100.6%
	英語Ⅳ	69	2,195	31.81	69	2,182	31.62	13	100.6%
	英語(再履修)	6	106	17.67	6	117	19.50	▲ 11	90.6%
	英語 小計	153	4,497	29.39	154	4,482	29.10	15	100.3%
	ドイツ語Ⅱ	32	945	29.53	25	935	37.40	10	101.1%
	ドイツ語Ⅰ(再履修)	1	32	32.00	1	36	36.00	▲ 4	88.9%
	ドイツ語 小計	33	977	29.61	26	971	37.35	6	100.6%
	フランス語Ⅱ	11	412	37.45	12	440	36.67	▲ 28	93.6%
	フランス語Ⅰ(再履修)	1	21	21.00	1	19	19.00	2	110.5%
	フランス語 小計	12	433	36.08	13	459	35.31	▲ 26	94.3%
	ロシア語Ⅱ	4	154	38.50	4	156	39.00	▲ 2	98.7%
	ロシア語Ⅰ(再履修)	1	6	6.00	1	10	10.00	▲ 4	60.0%
	ロシア語 小計	5	160	32.00	5	166	33.20	▲ 6	96.4%
	スペイン語Ⅱ	6	262	43.67	4	174	43.50	88	150.6%
	スペイン語Ⅰ(再履修)	1	10	10.00	1	8	8.00	2	125.0%
	スペイン語 小計	7	272	38.86	5	182	36.40	90	149.5%
	中国語Ⅱ	19	717	37.74	20	751	37.55	▲ 34	95.5%
	中国語Ⅰ(再履修)	1	42	42.00	1	53	53.00	▲ 11	79.2%
	中国語 小計	20	759	37.95	21	804	38.29	▲ 45	94.4%
	韓国語Ⅱ	4	112	28.00	4	96	24.00	16	116.7%
韓国語Ⅰ(再履修)	1	1	1.00	1	8	8.00	▲ 7	12.5%	
韓国語 小計	5	113	22.60	5	104	20.80	9	108.7%	
外国語科目 合計	235	7,211	30.69	229	7,168	31.30	43	100.6%	
英語Ⅲ・Ⅳ・初習外国語Ⅱ小計	223	6,993	31.36	217	6,917	31.88	76	101.1%	
(再履修)小計	12	218	18.17	12	251	20.92	▲ 33	86.9%	

理科基礎科目の詳細

理科基礎科目	物理学Ⅱ	22	1,775	80.68	22	1,799	81.77	▲ 24	98.7%
	物理学Ⅰ(再履修)	1	27	27.00	1	36	36.00	▲ 9	75.0%
	物理学 小計	23	1,802	78.35	23	1,835	79.78	▲ 33	98.2%
	化学Ⅱ	26	1,805	69.42	26	1,828	70.31	▲ 23	98.7%
	化学Ⅰ(再履修)	1	30	30.00	1	27	27.00	3	111.1%
	化学 小計	27	1,835	67.96	27	1,855	68.70	▲ 20	98.9%
	生物学Ⅱ	20	1,418	70.90	20	1,453	72.65	▲ 35	97.6%
	生物学Ⅰ(再履修)	1	22	22.00	1	20	20.00	2	110.0%
	生物学 小計	21	1,440	68.57	21	1,473	70.14	▲ 33	97.8%
	地球惑星科学Ⅱ	6	959	159.83	6	955	159.17	4	100.4%
	地球惑星科学Ⅰ(再履修)	6	959	159.83	6	955	159.17	4	100.4%
理科(実験除く)合計	77	6,036	78.39	77	6,118	79.45	▲ 82	98.7%	
物理学・化学・生物学・地球惑星科学 小計	74	5,957	80.50	74	6,035	81.55	▲ 78	98.7%	
(再履修)小計	3	79	26.33	3	83	27.67	▲ 4	95.2%	

教育評価 EDUCATIONAL EVALUATION

2017年度学生調査および卒業生調査を実施

本学では、学生からの意見を収集し、教育改善に役立てることを目的として、1年生と3年生の全学生を対象にした学生調査を実施しています。本調査は、文部科学省の補助事業により2009年から整備を進め、昨年度までの5年間本学が代表校として推進してきた大学間連携教育推進事業により、1年生と上級生(本学は3年生)を対象にスタートしました。本学も加盟する大学IRコンソーシアムが提供する共通調査項目を用いており、大学での学修状況、大学生活や教育環境に対する満足度等に関して学生に自己評価をお願いしています。今回、同調査項目で実施する6回目の調査になります。Web上のアンケートシステムにより、11月24日から12月8日まで回答を受け付け、さらに回答回収率向上を目的に12月15日まで回答期間を延長しました。調査実施に際しては、多くの皆様にご協力をいただき、全学教育英語科目授業における調査協力依頼文の配布(1年生のみ)、各部局にポスターの掲示、教育情報システムおよび電子メールにて学生へ通知を行いました。その結果、2017年度の回答回収率は、1年生が23.8%、3年生が13.2%となりました(図1)。1年生については、近年回収率の減少が続いていましたが、今回前年比で3ポイントほど増加しました。3年生の回収率は、2015年以降微増が続いています。

Webによる調査では、回答回収率の向上が課題となっており、これまで調査時期の検討や調査結果のフィードバック(学内の食堂に調査結果の一部を掲載した卓上三角POPを設置する)などを行ってまいりましたが、明瞭な効果は見えていません。学生からの意見として、設問数が多いことが挙げられています。調査実施側としては、共通調査として十分に検討された設問項目であるために、質問を削ることができない事情があります。回収率の向上につきましては、引き続き皆様のご意見とご協力をいただければ幸いです。昨年の調査から設けた大学教育に対する意見を求める自由記述欄には、学生から多数の建設的な意見が寄せられています。

大学教育で身につけた能力と社会で求められる能力との関係性に着目した卒業生調査は、上記学生調査を実施してきた大学間連携共同教育推進事業により整備し、2013年度より実施しています。各学部同窓会の協力を得て、12の学部・学科の卒業後5、10、15年目の卒業生(文学部は卒業後5年目のみ)を対象にして12月から2月にかけて調査を実施しました。質問用紙の送付・返信により回答を回収し、全体の回収率は、表1の通り、27.9%となりました。前回調査の最終回収率は、23.6%であり、4ポイントほど向上しました。多くの方々が休暇中である年

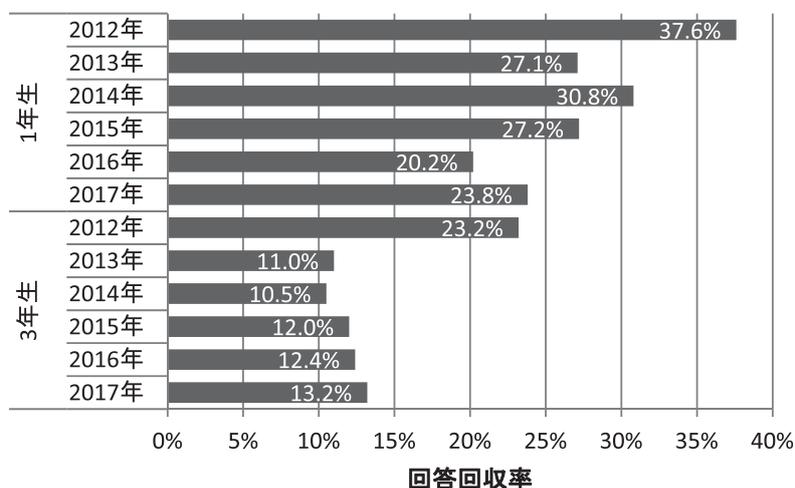


図1 学生調査の回答回収率経年変化

末年始にかけて調査を行った効果が出ていると考えられます。学部別に回収率を見ますと、例年と同様の傾向ですが、17%から40%弱までその差は最大20ポイント以上になります。現在、大学IRコンソーシアムでは、共通調査として卒業生調査を扱うために質問項目の再検討を進めています。加盟する大学間で調査結果の比較が可能になれば、回収率の学部間差を含め、より詳細な分析、解釈が可能になるこ

とが期待されます。

学生調査、卒業生調査ともに、現在集計と分析を進めています。分析結果概要につきましては、昨年と同様に学部別にまとめ、総合IR室よりフィードバックする予定です。各部局における教育の改善にご活用いただきたいと考えております。

(宮本 淳)

表1 卒業生調査実施概要

学 部 名	総発送数	宛先不明数	実 送 数	回 答 数	実質回収率
文学部	95	9	86	31	36.0%
教育学部	69	3	66	20	30.3%
法学部	426	8	418	76	18.2%
経済学部	291	9	282	48	17.0%
医学部医学科	188	14	174	69	39.7%
医学部保健学科	198	33	165	36	21.8%
歯学部	98	12	86	33	38.4%
薬学部	190	24	166	40	24.1%
工学部	604	97	507	174	34.3%
農学部	241	15	226	71	31.4%
獣医学部	88	13	75	25	33.3%
水産学部	337	39	298	88	29.5%
合 計	2,825	276	2,549	711	27.9%

学生支援 STUDENT SUPPORT

平成30年度夏季休暇における「全学インターンシップ」の実施に向けて

キャリアセンターと共同で、全学教育科目として「インターンシップA」及び「インターンシップB」を開講していますが、今年度についても夏季休暇を中心とした実施に向けてスタートしています。おおよそのスケジュールは表1のとおりです。

まず、インターンシップ希望学生に対する意識の醸成を図るため、4月25日にキャリアセンターと共催で「インターンシップではじめる!!就活準備ガイダンス」を開催しました。インターンシップが就活や就職後の仕事とどのようにつながっているのかな

どについて、インターンシップ経験のある本学卒業生や採用コンサルタントをお招きし実施しました。

さらに、5月7日及び5月9日（クラーク会館講堂）に「全学インターンシップ履修説明会」を開催します。本説明会では、まず昨年度に全学インターンシップに参加した学生にその体験談をお話いただき、参加しようと思っている学生のモチベーションの向上を図ります。その後、担当教員である高等教育推進機構の亀野淳准教授から制度の概要、スケジュール、手続き、心構えなどについて説明をし、

キャリアセンターの川上あきインターンシップ・マネージャーから具体的な手続きについて説明を行う予定です。

日本のインターンシップは他の国と比較して期間が短いのが課題となっていますが、近年よりその傾向が強まっています。そこで、今年度より2週間以上のインターンシップを企業にお願いし、こうしたインターンシップに参加する学生への対応をより充実させることとしています。

また、昨年度から新たな試みとして実施した「インターンシッププレ研修」を、5月22日、26日、7月18日に実施し、インターンシップ先企業の選び方やグループワーク、企業・業界研究の実践などを行う予定です。

その後、6～7月にかけて、参加希望学生と企業等のマッチングを行い、参加が決まった学生に対しては7月3日、4日、10日、11日（函館キャンパスは別途実施予定）に講義形式の事前研修を実施し、その後、1名10分あたりの個人面談も実施する予定です。

この事前研修や個人面談では、インターンシップ先の企業・団体や業界等の研究を行うとともに、インターンシップを通じて検証したい仮説をインターンシップ前に設定し、インターンシップを通じてその検証を行う予定です。同時に、学生はインターンシップ先の企業等に対して連絡を取り、札幌近辺の場合は事前に訪問し、打ち合わせを行っています。仮説の検証や学生自らの連絡・打ち合わせの実施は、1～2週間という短期間のインターンシップの効果をより高めるため、北大独自の方式となっています。

これらを経て、参加学生はそれぞれの企業・団体で夏季休暇中にインターンシップ実習を行う予定です。

インターンシップ終了後には、1ヶ月以内に研修成果レポートを各自提出するとともに、10月には、参加学生の「インターンシップ成果発表共有会」を開催し、受入企業にも参加していただき、インターンシップの成果を共有する予定です。

(亀野 淳)

表1 平成30年度 全学インターンシップ スケジュール

4月25日(水)	「インターンシップではじめる!!就活準備ガイダンス」
4月中旬～5月31日(木)	受入申込登録(企業)
5月7日(月), 9日(水)	全学インターンシップ説明会
5月7日(月)～	参加申込登録(学生)
5月22日(火)	「インターンシッププレ研修①」
5月26日(土)	「インターンシッププレ研修②」
6月4日(月)～12日(火)	参加希望企業名登録(学生)
6月15日(金)	第1次マッチング結果の通知
6月25日(月)～28日(木)	先着マッチング(第1次マッチングがされなかった学生と企業のマッチング)
7月3日(火), 4日(水)	事前研修①実施
7月10日(火), 11日(水)	事前研修②実施
7月中旬または下旬	事前研修①②(函館キャンパス)実施
7月18日(水)	「インターンシッププレ研修③」
7月中旬～8月上旬	個人面談(学生と担当教員)
夏季休暇期間	インターンシップ参加(学生)
インターンシップ終了後1ヶ月以内	研修成果レポートの提出(学生)
10月26日	「インターンシップ成果発表共有会」(学生, 企業)

経済同友会と連携した長期インターンシッププログラムの実施

平成28年度から公益社団法人経済同友会が実施する「望ましいインターンシップの枠組み」(<http://www.doyukai.or.jp/policyproposals/articles/2015/160328a.html>)に本学も趣旨に賛同し、参加していますが、今年度も夏季休暇中に実施することになりました。

本インターンシップは経済同友会が提唱した学部1, 2年生からの長期インターンシップです。つまり、最近の多くのインターンシップが1週間程度の短期のものが中心であり、また、参加学生も就職を次年度に控えた学部3年生や修士1年生が大部分を占める中でより教育的要素を強くしたものです。

本学からは、昨年度は10社14名の学生派遣でしたが、今年度は三井住友銀行、花王、大林組各2名、野村證券、JFEスチール、第一生命保険、日本航空、キッコーマン、コニカミノルタ、みずほ証券各1名、計10社、13名の学生を派遣することとなりました。

5月7日及び9日に開催される「全学インターンシップ履修説明会」等を通じ学部1, 2年生に周知し、5月17日まで参加希望学生の募集を行います。

その後、書類審査と面接を行い、上記の企業への派遣学生を決定する予定です。



科学技術コミュニケーション オープンエデュケーションセンター CoSTEP部門

大学図書館職員向けにインストラクショナルデザインの講習会を実施

2018年2月16日、国立大学図書館協会北海道地区協会が主催する、平成29年度企画事業「Redesign！講習会・ガイダンスをインストラクショナルデザインで再設計！」が附属図書館本館で開催されました。インストラクショナルデザインは元々独学中心になりがちなeラーニングにおいて、学習を効率的に、魅力的に設計するための原理として考えられたものです。しかし、その学習デザインは応用性が高く、近年は企業研修や生涯学習の場面など、はば広く活用されています。

本企画も、近年、研修や学習支援の機会が増えてきた大学図書館職員がインストラクショナルデザインを学ぶ場として実施されました。本講習は、2部

構成になっており、第1部では「インストラクショナルデザインとは～基礎と活用～」と題して、講義が実施され、第2部では、大学図書館におけるインストラクショナルデザインとして、講習会・ガイダンスへの応用を意識した実践的な内容の講義及び実習が行われました。特に講習会のプログラムを考えるという実践的な実習においては、実際に大学図書館職員同士のディスカッションを交えたグループワークを行い、参加者たちからも好評でした。

本事業では、第1部においてCoSTEPの教員が講師を務めました。このような講習会をきっかけに高等教育推進機構の教員が他部署にも貢献できる機会を増やしていきたいと考えています。



写真1 第1部の講義の様子



写真2 第2部の講義の様子

10：10-11：50 第1部（100分） インストラクショナルデザインの基礎講義

○インストラクショナルデザインとは～基礎と活用～

講師 奥本素子（高等教育推進機構 オープンエデュケーションセンター 科学教育研究部門 准教授）

13：00-16：50 第2部（230分） インストラクショナルデザインに基づいた講習会・ガイダンスのデザイン

○インストラクショナルデザインの図書館実施例

○大学図書館情報リテラシーへの応用

○プレゼン実習・まとめ

講師 高野真理子氏（特定非営利活動法人 大学図書館支援機構（IAAL）副理事長）

研究者の部屋をVR化した「記憶の部屋」を制作・展示

研究者にとっては日常、しかし「部外者」にとっては非日常の空間。そんな研究者の部屋をVR空間に閉じ込め、ウェブ上に公開する企画が「記憶の部屋」です。今年度CoSTEP実習の新企画として取り

組み、2名の部屋を2月27日にウェブ公開しました。また、2月28日から3月8日まで、インフォメーションセンターエルムの森で展示を行いました。

写真1 武田教授の書斎。QRコードで閲覧可能

企画の経緯～なぜ部屋なのか

これまでCoSTEPはFacebookページ「いいね！Hokudai」の取材を通して、数多くの研究者の部屋を訪れてきました。そして、そこには研究者の専門性や来歴を表す数多の品々が佇んでいることに気が付きました。しかしそれらは論文や著作とは違い、記録されることもなくいずれ記憶からも失われてしまいます。このようなキャラクターを持つ部屋そのものが、研究のリアリティを伝える魅力的なコンテンツになるのではないかと、そして記録する意義があるのではないかと考えました。

また近年、VR（仮想現実）や、3Dスキャンによる空間データの記録など、場の情報をまるごと記録し、体験できる手法が盛んになってきています。こういった新しい視覚技術を用いながら、「一つのまとまりで分かりやすく説明する」という従来とは異なる科学技術コミュニケーションの手法を検討することも本企画のねらいとしました。

CoSTEP受講生が中心となって制作

本企画はCoSTEPのライティング・編集実習（担当教員：川本思心・西尾直樹、受講生6名）とメディアデザイン実習（担当教員：村井貴・早岡英介、受

講生7名）が共同で取り組みました。また、360度撮影はパノラマ写真家の横谷恵二氏に、スチル撮影は北大OBで写真家の中村健太氏に御協力を頂きました。

取材先は受講生が複数提案して議論の末、文学研究科の武田雅哉教授（中国文化）と、農学研究院の曾根輝雄教授（応用分子微生物学）に決まりました。武田教授は、縦横無尽に中国文化を語る講義が人気で、膨大な蔵書があること等が決め手となりました。曾根教授は歴史ある「応用菌学教室」の現教授で、近年ワイン研究を始めています。この歴史的

写真2 CoSTEP受講生による取材。部屋の品々について、なぜそれがここにあるのかを伺っていく。

な時期に記録することに意義があると考えました。
 8月末に取材をしましたが、初めての企画ということもあり作業は簡単ではありませんでした。解説をするアイテムの選定、アイテム解説文の執筆、VRにおけるインタラクションのフレームの設計・実装等を行い、2月末に完成しました。

ウェブ公開および展示企画

今年度公開したのは「Room 1. 怪物の部屋～市

内某所709号室」と「Room 2. 菌楽の部屋～農学部本館N209」です。VRゴーグルだけではなく、スマートフォンやPCでも閲覧することができます。画面中央にあるポイントを、的状のアイコンに合わせて、そこにあるアイテムの解説が表示されます。部屋にある複数のアイテムを閲覧者自身が見つけていくことで、部屋とその主の輪郭を捉えていくという趣向です。

写真3 曾根教授の居室。QRコードで閲覧可能

2月28日から3月8日には、広報課の御協力を得て、インフォメーションセンターエルムの森で展示を行いました。解説パネルと中村氏による写真の展示と、PCによるVRの閲覧を常設とし、3月3日(土)にはスタッフ解説とVRゴーグルによる体験を実施しました。来場者からは「部屋を探検しているようで面白い」「研究室は一見同じようで細かく見ていくと個性があちこちに、というおもしろさがある」「部屋を通してパーソナリティや生活場所が見えると、興味に繋がる」「将来自分もこのような部屋で好きなことを研究したい。励みになる」といった声が寄せられました。

今回の企画を通して、直接的な説明から距離をおいた文章表現の難しさを再認識しました。また、体験を誘導することの重要性を確認することができま

した。本年度も企画を継続し、部屋数を増やすと同時にシステムを改善していく予定です。

(川本 思心)



写真4 エルムの森での展示

CoSTEP修了式公開シンポジウム 「遠くて近きは～人と動物の“ほどよい”距離感～」を開催

2018年3月10日、公開シンポジウムを開催しました。ゲストは、池田透さん（北海道大学大学院文学研究科教授）、出島誠一さん（日本自然保護協会自然保護部副部長・生物多様性保全室長）、大西純子さん（ピースワンコ・ジャパン プロジェクトリーダー）。司会は、CoSTEPの池田貴子が務めました。

写真1 左から、池田さん、出島さん、大西さん

害獣や外来生物の駆除、正常な個体群を維持するための間引き、ペットの殺処分、動物実験、屠畜など、人間社会は多くの動物の犠牲の上に成り立っています。シンポジウムでは、人間が持つ殺生に対する後ろめたさや、「なんだか気持ち悪い」「かわいい」といった「感情」の部分に焦点を当てることで、人と動物との「共生」の在り方について考えました。

アライグマ研究に携わる池田透さんは、外来生物の真の脅威は、生態系バランスの破壊による影響が予測できない点にある、と言います。そして現在の生態系を後世に遺す義務を果たすために、「駆除」

という苦渋の決断に至りました。また、現代において生命観が醸成されにくい理由として、幼少期に生き物に触れる機会が減少したため、と指摘しました。

希少な生物の保全に携わる出島誠一さんからは、地域住民と科学者との間をつなぐ立場でお話いただきました。野生動物についての住民アンケートをみると、「無知・無関心」である一方で「絶滅してほしいくない」という、矛盾した回答が大半であったといます。実感のないテーマについて熟考し合理的に判断することは、確かに難しいことです。

ペットの殺処分ゼロを支援するプロジェクトを主導する大西純子さんからは、棄てられたペットを訓練して社会の中で新たな役割を与えることで無関心層に訴える試みについてご紹介いただきました。また、ドイツでの事例を挙げ、日本の動物福祉教育の遅れを指摘しました。

人と動物の共生の在り方について、それぞれの立場からお話いただきましたが、共通するのは体験による「実感」の意義です。これは動物問題に限ったことではないでしょう。科学技術により私達の生活には選択肢が増えたと同時に、決断しなくてはならない機会が増えました。難しいこと、辛いことにはつい目をつぶりたくなりますが、主体的に自分事として決定に関わるためにも、知識だけでなく「実

写真2 議論に参加する来場者



写真3 パネルディスカッション

感」にも基づいて自分の意思を持ちたいものです。

最後に、この会の企画者であり、生態学者でもある私自身の反省です。生態学では、動物を「個」ではなく「システム」の一部として見ます。そのように訓練されるあまり、感情について語ることはばかられる雰囲気さえあります。ですが、人間の自然

な感情を無視しては、科学者と市民との対話など不可能だということに、改めて気付きました。人と動物との共生が難しくなってきた今という時代は、生態学という学問のスタンスについても再考の時なのかもしれません。

(池田 貴子)

日誌 EVENTS, December-March

12月

- | | | | |
|-------------------|---|---------------|----------------------------|
| 11月30日～12月4日 (会議) | 第6回高等教育推進機構運営委員会 (持回り) | 13日 (会議) | ELMS定例会 |
| 12月5日～7日 (行事) | 公務員・数的処理対策3Daysレッスン | 15日 (行事) | 第1回新渡戸カレッジ特別講演会 |
| 6日 (行事) | キャリアガイダンス～国連で働く方法教えます～ | 15日 (研修) | 求められる学習支援を考える (高等教育研修センター) |
| 7日 (行事) | 「新渡戸スクールカフェ」(人文・社会科学総合教育研究棟) | 16日 (行事) | 大学合同グループディスカッション実践講座第1回 |
| 7日 (会議) | オープンエデュケーションセンター連絡会議 | 18日 (行事) | 公務員の仕事研究合同セミナー |
| 8日 (研修) | Classroom management techniques for classes conducted in English (高等教育研修センター) | 19日 (会議) | 第7回高等教育推進機構運営委員会 |
| 9日 (行事) | 新渡戸カレッジ第5回フェローゼミ | 20日・21日 (行事) | 内定者プロジェクト2019「就活十人十色」 |
| 9日 (研修) | シラバスのブラッシュアップ研修 (高等教育研修センター) | 21日 (行事) | 「新渡戸スクールカフェ」(工学部B棟) |
| 10日 (行事) | 新渡戸カレッジフェローゼミ全体発表会 | 22日 (会議) | 第6回新渡戸カレッジ定例会 |
| 10日 (行事) | 第4回 GO GLOBAL JAPAN EXPO 成果報告会 (明治大学) | 26日～1月4日 (行事) | 私費外国人留学生入試願書受付 |
| 10日 (行事) | 第98回サイエンス・カフェ札幌「メダカの三角関係～束縛したいメカニズム～」(CoSTEP) | | |
| 11日～14日 (行事) | 業界研究ガイダンス | | |
| 12日 (会議) | 入学者選抜委員会 | | |
| 12日 (行事) | AO入試 (大学入試センター試験を課さない学部・学科)・帰国子女入 | | |

1月

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| 1月10日 (会議) | 第2回新渡戸カレッジ評価委員会 |
| 13日～14日 (試験) | 大学入試センター試験 |
| 13日 (会議) | 第1回高等教育研究専門委員会公開講座 (全学企画) 実施部会 |
| 17日 (会議) | ELMS定例会 |
| 19日 (会議) | オープンエデュケーションセンター連絡会議 |
| 20日～21日 (行事) | 新渡戸カレッジ第4回対話プログラム |

- | | | | |
|--------------|--|------------------|--|
| 20日 (行事) | 第3回新渡戸カレッジ目標達成力向上ワークショップ | 11日 (行事) | 体験型科学実験イベント「サイエンスリンク in 北海道」(CoSTEP) |
| 22日 (会議) | 第5回NITOBEd教育システム将来構想諮問委員会 | 13日 (会議) | 第4回総合教育教務・学生専門委員会(持ち回り) |
| 22日～31日 (行事) | 一般入試願書受付(前期日程・後期日程) | 13日 (行事) | 第2回新渡戸カレッジ特別講演会 |
| 25日 (会議) | 全学教育科目責任者会議(理系基礎科目) | 13日～16日・19日 (行事) | 新渡戸スクール上級プログラム最終報告会 |
| 26日 (会議) | 第7回新渡戸カレッジ定例会 | 14日 (会議) | ELMS定例会 |
| 26日 (研修) | 英文Eメールライティング研修～フォーマット編(高等教育研修センター) | 15日 (会議) | オープンエデュケーションセンター連絡会議 |
| 27日 (研修) | 英文Eメールライティング研修～表現編(高等教育研修センター) | 16日 (試験) | 私費外国人留学生入試第2次選考日 |
| 28日 (行事) | 二重らせんは未来をつむげるか?～討論劇で問うヒト受精卵へのゲノム編集の是非～(CoSTEP) | 16日 (会議) | 第8回高等教育推進機構運営委員会 |
| 29日 (行事) | 伝える力講座 | 16日 (研修) | 英語コミュニケーション研修～リスニング編(高等教育研修センター) |
| 30日 (行事) | 公開授業「札幌の未来に関するプレゼンテーション」(中央図書館) | 17日 (会議) | NITOBEd教育システム 新渡戸カレッジ教務専門委員会 |
| 31日 (行事) | 新渡戸スクール上級プログラム講演会「第5回開拓者ワークショップ」 | 17日 (研修) | 英語コミュニケーション研修～スピーキング編(高等教育研修センター) |
| | | 18日 (行事) | 第99回サイエンス・カフェ札幌「究極超合金★タービンブレード～より硬く、より粘り強く～」(CoSTEP) |
| | | 20日 (会議) | 第5回全学教育専門委員会 |
| | | 20日 (研修) | 第2回北海道大学TF研修会 |
| | | 20日 (行事) | 大学合同グループディスカッション実践講座第2回 |
| | | 21日 (会議) | 第1回高等教育研修センター共同利用運営委員会 |
| | | 21日 (研修) | アクティブラーニング導入ワークショップ(高等教育研修センター) |
| | | 21日 (行事) | 就活おさらい&企業研究セミナーの歩き方 |
| | | 22日 (行事) | HC塾in札幌「科学と技術そして人間－人は科学技術とどうつきあったらいいのか?－」(CoSTEP) |
| | | 22日 (研修) | ループリック評価入門ワークショップ(高等教育研修センター) |
| | | 22日 (会議) | 第1回オープンエデュケーション専門委員会科学技術コミュニケーション教育研究専門部会 |
| | | 25日～26日 (試験) | 一般入試(前期日程) |

■ 2月

- 2月1日～9日 (会議)
- 第2回高等教育研究専門委員会公開講座(全学企画)実施部会
- 1日 (行事) 公開授業「札幌の未来に関するプレゼンテーション」(総合博物館)
- 6日 (会議) 入学者選抜委員会
- 6日 (行事) AO入試(センター試験を課す学部・学科)・国際総合入試最終合格発表
- 6日 (行事) 学部・学科等移行ガイダンス
- 7日 (行事) 学部・学科等紹介
- 9日 (行事) 第26回 三省堂サイエンスカフェ「先端医療はどこへ向かうのか」(CoSTEP)
- 10日 (会議) 第6回NITOBEd教育システム将来構想諮問委員会(東京)
- 10日 (会議) 2017年度新渡戸カレッジ振り返り会
- 10日 (行事) 教員志望者ガイダンス

- | | | | |
|---------------|--|----------|---|
| 26日 (会議) | 第8回新渡戸カレッジ定例会 | 9日 (会議) | 第1回高等教育研修専門委員会 |
| 27日 (会議) | 平成29年度第4回新渡戸スクール教務専門委員会 | 10日 (行事) | CoSTEP13期生修了式・成果発表会
公開シンポジウム「遠くて近きは～人と動物の“ほどよい”距離感～」 |
| 28日 (会議) | 第4回総合教育移行専門委員会 | 12日 (試験) | 一般入試 (後期日程) |
| 28日 (会議) | 第4回学務委員会 | 14日 (会議) | ELMS定例会 |
| 28日～3月8日 (行事) | 「記憶の部屋」(研究者の部屋を、VRで360度体験できる展示)をエルムの森にて開催 (CoSTEP) | 14日 (研修) | アカデミック・ライティング研修(中級編) (高等教育研修センター) |
| 28日 (行事) | 企業研究セミナー特別企画「公開模擬面接会」 | 15日 (会議) | クラス担任等連絡会 |
| | | 15日 (会議) | 第3回全学教育専門委員会授業評価専門部会 |
| | | 15日 (会議) | オープンエデュケーションセンター連絡会議 |

3月

- | | | | |
|---------------|----------------------------------|--------------|---|
| 3月1日～15日 (行事) | 企業研究セミナー (12日を除く) | 15日 (研修) | ワークショップ「FD・SD研修マネジメント」(高等教育研修センター) |
| 1日 (会議) | 第1回高等教育研究専門委員会 | 15日 (研修) | ワークショップ「改めて教育の質保証を検討する」(高等教育研修センター) |
| 1日 (行事) | 「新渡戸スクールカフェ」(総合博物館) | 17日 (会議) | 2018年度新渡戸カレッジ・新任フェロー事前説明会 |
| 5日 (会議) | クラス担任幹事会 | 19日 (行事) | 新渡戸スクール修了式・懇親会 (学術交流会館) |
| 5日 (会議) | 第5回総合教育・教務学生専門委員会 (持ち回り) | 20日 (会議) | 第5回総合教育移行専門委員会 |
| 6日 (会議) | 入学者選抜委員会 | 20日 (会議) | 第5回学務委員会 |
| 6日 (会議) | 第1回教務情報システム専門委員会 | 20日 (会議) | 入学者選抜委員会 |
| 6日 (会議) | 第3回オープンエデュケーション専門委員会 | 20日 (行事) | 一般入試 (後期日程) 合格発表 |
| 6日 (研修) | 英語プレゼンテーション研修 (中級編) (高等教育研修センター) | 20日 (会議) | 全学教育専門委員会成績評価結果検討専門部会 |
| 6日 (行事) | 企業研究セミナー特別企画「外国人留学生就職セミナー」 | 22日 (行事) | 新渡戸カレッジ修了祝賀会及びフェロー謝恩会 |
| 7日 (会議) | 第1回NITOBE教育システム運営会議 | 26日 (行事) | CoSTEP受講説明会 (北海道大学東京オフィス) |
| 7日 (会議) | 第5回教務委員会 | 26日 (行事) | CoSTEPリスクコミュニケーション実習福島報告会 (福島市コラッセふくしま) |
| 7日 (行事) | 一般入試 (前期日程)・私費外国人留学生入試合格発表 | 26日 (行事) | 教員志望者ガイダンス |
| 7日 (行事) | オープンエデュケーションフォーラム開催 | 27日 (会議) | 第10回高等教育推進機構運営委員会 |
| 8日 (行事) | 「新渡戸スクールカフェ」(総合博物館) | 29日～30日 (行事) | 新渡戸カレッジ入校説明会 |
| 8日 (研修) | TF振り返り研修会 | | |
| 8日～13日 (会議) | 第9回高等教育推進機構運営委員会 (持ち回り) | | |

行事予定 SCHEDULE, April-August

◆4月

- 2 (月) ~ 4 (水)
新入生定期健康診断
- 5 (木) 新入生オリエンテーション及び総合教育部ガイダンス (学部・学科等移行ガイダンス, 学部ガイダンス)
- 6 (金) 入学式
- 9 (月) 履修調整・登録に関するガイダンス及び教育情報システム (ELMS) 利用に関するガイダンス
- 9 (月) ~10 (火)
日本学生支援機構・新規奨学生募集説明会 (2年次以上は, 11 (水) に実施)
- 10 (火) 第1学期授業開始日
- 10 (火) ~16 (月)
抽選科目の申込期間 (Web入力)
- 18 (水) 抽選科目の結果発表日及び追加申込日
- 18 (水) ~20 (金)
日本学生支援機構・新規奨学生申請書提出期間
(2年次以上は, 23 (月) ~24 (火))
- 19 (木) ~25 (水)
履修登録 (Web入力)

◆5月

- 8 (火) ~ 9 (水)
履修時間割確認期間
- 16 (水) 6 講時授業実施開始

◆6月

- 1 (金) ~ 3 (日)
大学祭 [期間中休講]
- 11 (月) ~13 (水)
履修登録科目の取消期間 (Web)
- 13 (水) 6 講時授業実施終了
- 16 (土) TOEFL-ITP試験 (英語Ⅱ)
- 18 (月) ~20 (水)
自由設計科目登録変更期間

◆7月

- 25 (水) 水曜日の授業終了日
- 31 (火) 火曜日の授業終了日

◆8月

- 1 (水) 初習外国語統一試験日 (通常授業は休講)
- 2 (木) 木曜日の授業終了日
- 3 (金) 金曜日の授業終了日
- 5 (日) ~ 6 (月)
オープンキャンパス (予定)
- 6 (月) 月曜日の授業終了日 (第1学期授業終了日)
- 7 (火) ~ 9 /26 (水)
夏季休業日
- 13 (月) 成績報告締切 (非常勤 [帳票])
- 16 (木) 正午
成績報告締切 (常勤 [Web入力])
- 23 (木) 全学教育科目成績Web上公開
- 23 (木) ~24 (金)
全学教育科目成績確認及び成績評価に関する申立て期間

ニュースレター 2018, No.111 目次

(巻頭言) 教育改革室の仕事ー教育を中心に 高橋 彩 1	平成30年度夏季休暇における 「全学インターンシップ」の実施に向けて 13
ラーニングサポート室2017年度活動報告 3	経済同友会と連携した 長期インターンシッププログラムの実施 15
ピアサポート室2017年度活動報告 ー仲間同士の支え合いと居場所の空間ー 5	大学図書館職員向けにインストラクショナル デザインの講習会を実施 16
学務委員会報告 6	研究者の部屋をVR化した 「記憶の部屋」を制作・展示 17
平成30年度 全学教育部・総合教育部行事予定表 7	CoSTEP修了式公開シンポジウム 「遠くて近きは～人と動物の“ほどよい”距離感～」 を開催 19
平成29/28年度 (第1学期) 全学教育科目履修者数 対比表 8	日誌 20 行事予定 23
平成29/28年度 (第2学期) 全学教育科目履修者数 対比表 (履修取消後) 10	目次・編集後記 24
2017年度 学生調査および卒業生調査を実施 12	

編集後記

日中は春の陽気を感じられるようになってきました。新年度がスタートし、高等教育推進機構は毎日新生で賑っています。授業を受ける1年生の年齢層は毎年ほとんど変わらないのに対して、自分は着実に1年ずつ年齢を積み重ねていることがふと頭をよぎりました。いつの間にか学部学生とは20歳も年が離れてしまいました。毎年シラバスと授業の内容を少しずつ改善しているつもりですが、どこかで大幅なアップデートをしなければならぬと改めて思う次第です。(ETI)

ニュースレター

(北海道大学高等教育推進機構広報誌)
通算 第111号

発行日： 2018年4月30日
発行元： 北海道大学高等教育推進機構
〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目
編集委員：◎細川敏幸・鈴木誠・飯田直弘・岩間徳兼
ご意見、お問い合わせは◎印の編集委員まで
電話 (011)706-7514, FAX (011)706-7521
インターネットホームページ：
<http://educate.academic.hokudai.ac.jp/center/index.html>